

行動制限（身体的拘束）最小化に向けた当院の取り組み

当院では、基本理念である「心ある医療」のもと、患者様一人ひとりの尊厳を守り、安全で安心できる医療の提供に努めています。

行動制限（身体的拘束）は、患者様の心身にさまざまな影響を及ぼすことから、原則として行わないことを基本方針としています。やむを得ず実施する場合には、患者様の安全を守るために必要な場合に限り、当院の指針に基づいて必要最小限の範囲で慎重に対応します。

また、行動制限（身体的拘束）に頼らないケアの実践に向けて、多職種で検討を重ね、継続的な教育や環境整備などを通して、行動制限（身体的拘束）の最小化に組織全体で取り組んでいます。

当院の「行動制限（身体的拘束）最小化のための指針」も併せてご覧ください。

皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2026 年 8 月 1 日

北里大学北里研究所病院

病院長 金子博徳